

## 当院の Rapid Response System の検討 -オーストラリアの RRS と比較して-

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

### 研究の目的と方法

Rapid Response System (以下 RRS) は一般病棟に入院している患者さんの予期せぬバイタルサインの変化を早期に認知し、Medical Emergency Team (以下 MET) の介入により重篤化を防ぐことを目的に開発されました。当院においても 2015 年から導入しており、RRS 起動データの収集・解析を行い、システム改良を行っています。本研究においては、これまでに入院していた方で MET が対応した方々の診療記録、血圧などのバイタルサイン、採血データを収集し、RRS の先進国であるオーストラリアとの比較を行い、システム改善に繋げることを目的とします。

RRS の先進国であるオーストラリアとの比較を行い、診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

### 研究の対象となる方

2015 年 7 月 1 日～2026 年 3 月 18 日に済生会熊本病院で入院中 MET が介入した方

### 使用する試料・情報

RRS 起動後の RRS 転帰記録とカルテに記載されている内容、入院時からのバイタルサイン、Modified Early Warning Score および採血データ

使用開始予定日：2026 年 3 月 23 日

### 研究予定期間

2026 年 3 月 23 日～2026 年 7 月 11 日

### 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 救急科 中村悠太

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

### 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 救急科 中村悠太

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000 (代表)